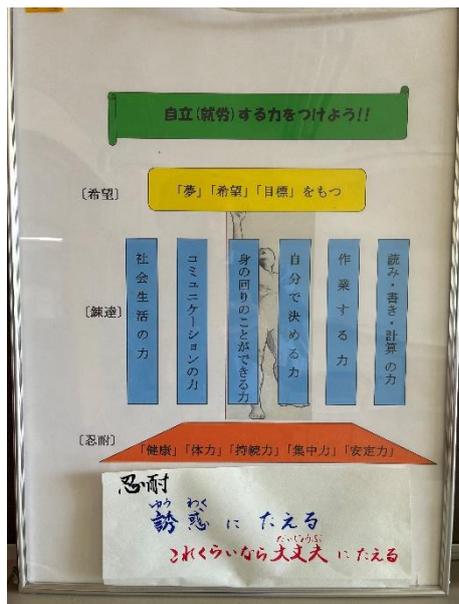


1 校訓「忍耐」

1学期終業式に「校訓」について話をしました。各教室に設置されてある下図を活用しました。これは、校内研究の成果物として各教室に設置されているようです。



夏休みの生活については1学期終業式の前日に生徒指導部から生徒に丁寧に説明されていたので、校訓の「忍耐」を取り上げて話をしました。夏休みは「誘惑に耐えることに挑戦してほしい」「これくらいなら大丈夫」に耐えてほしいと話しました。

2学期の始業式、再度、そのことについて、自問してくださいと生徒に問いました。「これくらいなら大丈夫」という誘惑に耐えることは大人でも難しいことです。2学期もこれくらいなら大丈夫という誘惑に負けないように学校のルールを守る力を身に付けてほしいと話しました。

生徒の挑戦を応援したいと思います。

2 相談する力

校訓の「忍耐」について、1学期の終業式、2学期の始業式で話をしましたが、学校生活で特に対人関係で、友達や先輩から言われたり、されたりして、嫌な気持ちになったりつらいと思ったりした時には、「耐える」のではなく、近くの先生に「少し話を聞いてもらえますか」と自分から相談できるようにしてほしいと話しました。

生徒にとって安心・安全で居心地の良い学校にしていきたいと思います。

3 体験入部

夏休み期間中に部活動の体験入部をしました。体験入部をした部活動は、サッカー部、バドミントン部、和太鼓部、陸上部、家庭部、美術部でした。新聞部とウエイトリフティング部は夏休み期間中の体験入部は難しかったので、冬休みを考えています。

熱中症警戒アラートが連日発令されている中の体験入部でした。熱中症には十分気を付けましたが、生徒と同じように活動するのは難しく、私がいまいちよく分からない、また、うまくできないっていると生徒が「校長先生、こうですよ」と優しくモデルを示しながら教えてくれたり、励ましてくれたりしました。困っている人、できないでいる人にやさしく手を差し伸べる、応援する生徒の姿に接し感動した体験入部となりました。